

Title	表紙ほか
Author(s)	
Citation	天界 = The heavens (1942), 22(250)
Issue Date	1942-03-01
URL	http://hdl.handle.net/2433/168363
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

天 界

(第 22 卷)

第 2 5 0 號

昭和17年第 4 號

本 號 要 目

口繪寫真 南十字架と石炭袋, ベレニセの髪星座の星團	
(巻頭言) 天文家の苦勞など	山 本 一 清 107
ガリレオ傳(1)	山 本 一 清 109
天 界 正 誤 表	114, 138
ベレニセの髪星座星團	R. J. トラムブラ 115
黃道光撮影と日食	竹内時男, 宮良英副, 藤澤信 119
綠閃光を見たか	山 本 生 120
石坂常堅の星圖	中川登代雄 123
臺灣日蝕紀行(3)	井 本 進 124
天界新知識(4件)	128
觀測部月報: 遊星面・黃道光・流星・彗星・太陽	134
事 務 局 だ よ り	138
1942年四月の天象	表紙第3頁
たてぐみ頁 月の光の明るさ	田 上 生(367)

南十字架と石炭袋



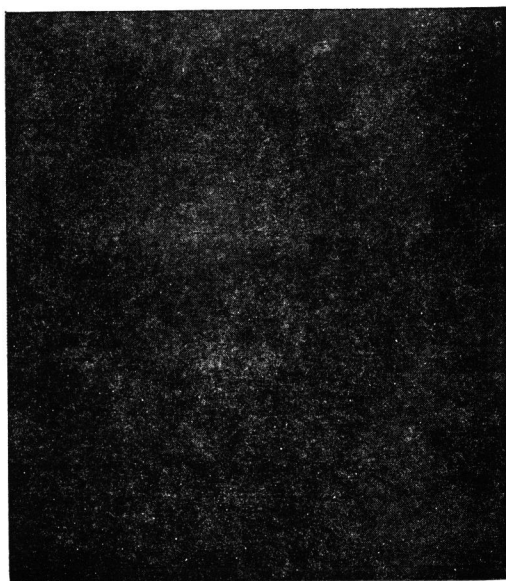
わたつみの神も護るかひたすらに南十字をさしてゆく船

(淺野晃)

The Coal Sack Near the Southern Cross

ペレニセの髪の
星座にある星團

1923年五月ヤ
キース天文臺に
て撮影 (山本)



Cluster in Coma Berenices

東亞天文協會頒布天文寫真目錄

天文寫真(第1輯) 一枚に付き金1圓40錢(送料共)。皆、非常に珍しいもので、始めて頒布されるもの、又は日本では殆んど手に入らぬものばかりです。すべて説明文つきです。

1. 土星 リク天文臺にて觀察されたもの。今回の接近の記念として絶好品。
2. ベルリの皆既日蝕 1937年6月8日、花山の觀測隊が撮影したもの。
3. フィンストラ彗星 1937年七月、賑やかなペルセウス座を北進する景觀。
4. 盛裝のアインスタイン博士 相對原理の創設者の見事な肖像。
5. 小マゼラン雲 近年の宇宙研究上に有名な天體で、日本では見えない珍景。
6. オリオン大星雲 白く輝く蝶ネクタイ型の大ガス星雲、一幅の大宇宙畫。
7. ヘルクレス球狀星團 望遠鏡で見得る最も最大なる宇宙の一つ。
8. 黒點されたる太陽 1940年八月18日會員伊達英太郎氏撮影。

(第2輯) 一枚に付き金1圓也(送料共)。

1. 火星の寫真(3枚1組) 1939年の夏、スライファが撮った貴重品。
2. ビケリング博士 火星面觀測者の座右に備ふべき寫真。

知新觀象臺頒布天文寫真目錄 (本會取次)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 星の日週運動(1) | 14. 月蝕(地球の影)(2) |
| 2. 金星の掩蔽出現(3) | 15. ベリナード星の運動(3) |
| 3. 小遊星と蟹星霧(3) | 16. 水星の日面通過(品切) |
| 4. ヘルクレス座新星の光度消長(1) | 17. カニンガム彗星(2) |
| 5. 皆既月蝕の經過(3) | 18. パラスケボボウロス彗星(2) |
| 6. 太陽黒點の生ひ立ち(品切) | 19. 十七世紀の天球圖(縮圖)(4) |
| 7. アンドロメダ大星霧(1) | 20. 同 太陽系圖(〃)(4) |
| 8. 北アメリカ星霧(3) | 21. 同圖中、日蝕部、日本島(〃)(4) |
| 9. ペルテア彗星の接近(3) | 22. 四大遊星接近(2) |
| 10. ダニエル彗星の再現(3) | 23. メシエ第35番星(2) |
| 11. フィンストラ彗星(5) | 24. 部分日蝕(3) |
| 12. 日蝕帶蝕經過(3) | 25. 火星掩蔽(I)(3) |
| 13. 日の出は小さい(3) | 26. 火星掩蔽(II)(3) |

價 格 表 (送料共)

- | | | | |
|-----------------|-----|-------------|-----|
| (1) 手札又ハカビネ半截密着 | 13錢 | (4) カビネ形 密着 | 20錢 |
| (2) " " 引伸 | 20錢 | (5) " 引伸 | 35錢 |
| (3) ポスト形 密着 | 15錢 | | |

觀測用印刷物

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ○ 太陽黒點報告用紙 (一枚 3錢) | 東亞天文協會事務局 |
| ○ 太陽面經緯度圖(第1—8圖) (一組50錢) | |
| ○ 流星觀測用星圖(第1—6圖)(各一枚 3錢) | 流星課長 小槇孝二郎氏宛 |
| ○ 流星觀測報告用紙 (一枚 2錢) | |
| ○ 變星觀測用星圖 (一枚10錢) | 東亞天文協會事務局 |
| ○ 變星觀測報告用紙 (一枚 2錢) | |
| ○ 黃道光觀測用星圖 (一枚 3錢) | 黃道光課長 山本一清氏宛 |
| ○ 黃道光觀測報告用紙 (一枚 3錢) | |
| ○ 木星スケチ用紙 (一枚 5錢) | 遊星面課長 伊達英太郎氏宛 |
| ○ 火星スケチ用紙 (一枚 5錢) | |

(送料各々2組及6枚迄 3錢)

報告するに關する會員

〔入會者〕

後藤	重三	郎(名古屋)
笠井	泰雄	(京都)
松本	顯	(東京)
里見	廣	(大阪)
金塚	政夫	(大阪)
片桐	大自	(島原)

〔觀測部入部〕

笠井泰雄(京都)
金塚政夫(大阪)
柳部重美(神戸)

七高報國團天文研究部(鹿兒島)

〔應 召〕

〔注意〕

山石	口上	善	造	津
祖	父	江	大	岡
香	村	義	靜	阜
槐	川	良	岐	都
金	谷	元	大	阪
高	谷		京	京
祖	津	得	豐	阪
賴	父	義	一	城
松	下		雄	阜
			揚	灣
			臺	京
			東	

魚返 隆(朝鮮)

御移轉の節は直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。
觀測部(へ入部)の方は其旨附記して下さい。

昭和17年分會費部費領收者芳名

會費 (4 圓)

後野北三中金伊神吉里遠津乾小永梶村松冬櫻田鈴高綿關田後石明森	閑田宅野塚達田川見藤野泉松岡田林井中木津貫代藤上星	茂子敏政英利元親成一雅範三太雅茂得博春義三五	樹廣一郎彰夫彦藏晴義美功勝子房郎男男一暉雄光郎業	(滿東岡東富大兵京大東西和兵東大南東英神群東名靜大若	洲山山山阪庫庫都阪都京歌庫阪洋倉戶馬屋岡阪松
--------------------------------	---------------------------	------------------------	--------------------------	----------------------------	------------------------

片中關山足梶森保北鈴增河渡古菅鈴蔡前正伊八坂及松長稻吳小竹足伊	桐田光崎利谷安積村木田原邊谷野木章德一謙方景武時富清	大重正誠千太英春俊和雄喜次一謙方景武時富清	自(島) 俊(京) 光(岩) 信(東) 郎(東) 彥(大) 豐(東) 男(京) 雄(東) 二(東) 力(大) 一(東) 獻(臺) 郎(大) 忠(岐) 堅(京) 務(鹿) 平(岩) 顯(東) 五(東) 澤(臺) 久(東) 男(東) 男(廣) 賴(宇)	(原)都 (手)阪 (京)根 (京)阪 (京)路 (都)京 (京)京 (京)阪 (京)北 (阪)阜 (宮)郷 (兒)島 (手)京 (京)京 (臺)灣 (京)京 (京)島 (京)部
---------------------------------	----------------------------	-----------------------	--	--

倉戸庫山良京取都嶋	鎌兵岡奈(東鳥京)三朝(大京)愛(東岡)清(大女弘義男一麿雄祐耶揚晃義	太郎四雄子治雄藏三作章造司行淑衛清進女弘義男一麿雄祐耶揚晃義	太通文俊泰榮匡三祥永良吏延吉高良秀成義之太正	清勝宅井內尾穴本林森木奈倉條下野尾國地川村川邊江正松武藤高	森萩岡三萩竹西小山小藤青高朝中松藤日松常菊江香吉木祖吉禰賴佐飯
-----------	-------------------------------------	--------------------------------	------------------------	-------------------------------	---------------------------------

(順序不同) (領收通知に代ふ) (17-1-31締切)

1942年 四月の天象 時刻は日本標準時

皇軍の奮戦する大南洋の各地では極暑の季節であり、又、北境を堅める將兵たちの滿支の曠野では寒さの尙葢しい時期であるけれど、内地では“四月”はもはや花笑ひ鳥歌ふ陽春の好期である。太陽は魚座にあつて、北上しつつ、5日には清明、21日には穀雨の季節となる。盟邦“泰國”では此の四月1日が今年の一月元旦に當る。大東亞圈の發展史上、此の日、何等かの吉兆が訪れるや、否や!?

月は四月1日が満月であり、それから、8日が下弦、15日が新月で舊三月朔、24日が上弦、超えて翌五月1日が満月となる。——従つて、かうした都合から見ると、今年の琴座流星群は、空さへ晴れば、月光の妨げが全く無くて、實に恵まれたものとなるだらう。全國と言はず、否、全世界にわたつて、今年は此の流星の眞相を把握したいものである。

水星は20日以前が曉の星、其後は宵の星だが、觀望には不適。金星は毎曉の東天に力強く君臨して、14日には太陽から極大離角46°以上となる。但し、黃道傾斜の關係上、比較的低位なので、學的觀測は寧ろ晝間の南中時(午前9時前後)が良からう。尤も、臺灣以南では、曉天の觀測も好適であらう。12日正午過ぎに金星は月に掩蔽されるが、之れ亦、臺灣から南方の地で見えるだけである。恵まれる臺灣よ!!

火星も、木星も、土星も、天王星も、皆一齊に可なり西へ傾いて、暫く天の舞臺から退場しようとしてゐる。しかし其の去りがけに、4日には火星と木星とが會合し、又、28日には土星と天王星とが接近交會する。

今年中に近日點へ回歸する七つ八つの週期彗星のうち、最も良好な條件の下に待望されるグリグ・シェレル1彗星は、この頃、南天から北上しつつある。近日點通過は五月であるが、年初からグングン地球に近づきつつあるから、四月と言はず、三月中にも發見が行はれるかも知れない。戰亂の世の中で、歐米の天文家たちも皆、交通通信の道を斷ち切られ、空襲におびえて、天象も見忘れ勝ちだらうが、吾々のみは戰勝皇軍の保證の下に、是非この彗星を適確に捕へたいものである。

去る二月11日にベルナスコ＝氏が新彗星(8等級)を發見し、翌12日オテルマ氏も亦別の新彗星(15等級)を發見した。何れも2~3ヶ月は見える筈。

天象の詳細は本誌第247號(本年第1號)1942年の天文年鑑號及び急報を参照のこと。

東亞天文協會

—大正9年(1920年)創立, 昭和7年(1932年)改名—

會長	山本一清	(滋賀縣草津町大路井420; 同栗太郡上田上村桐生)
副會長	宮森作造	小横孝二郎
理事長	宮森作造	觀測部長 木邊成麿
專務理事	中村覺	經理部長 宇野良雄
教育部長	高城武夫	事業部長 大口周作
報導部長	山本一清	理事(無任所) 美田爲三

本部所在地	田上天文臺	滋賀縣栗太郡上田上
事務局所在地	滋賀縣堅田局區內	
經營する天文台	倉敷天文台	岡山縣倉敷市
大阪支部所在地	大阪市電氣科學館	プラネタリウム (大阪市四ツ橋)
臺灣支部	臺北市公會堂內	
黃道光觀測所	廣島縣沼隈郡瀬戸村	

東亞天文協會觀測部

1. 流星課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小横孝二郎, 幹事 宇野良雄)
2. 彗星課 (課長 滋賀縣草津町大路井420 山本 進)
3. 變星課 (課長 木邊成麿, 幹事 小澤喜一)
4. 太陽課 (課長 缺, 幹事 靜岡縣志太郡吉永村吉永1768 大石辰次)
5. 黃道光課 (課長 田上天文臺 山本一清, 幹事 本田 實)
6. 豫報課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
7. 機械課 (課長 滋賀縣野洲郡中里村木部 木邊成麿)
8. 寫真課 (課長 大津市鹿間町 堀井政三)
9. 遊星面課 (課長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎, 幹事 木邊成麿)
10. 掩蔽課 (課長 大阪市住吉區萬代東4の6 高城武夫)
11. 月面課 (課長 伊達英太郎)
12. 歷史研究課 (課長 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石344 井本 進)

觀測部規定 (昭和6年11月22日制定)

- 第1條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ, 天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第2條, 第3條, 第6條 (略)
- 第4條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第5條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ東亞天文^アプレテン, 東亞天文協會急報並ビニ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。

御申込みは 滋賀縣堅田局區內 東亞天文協會 (電話は堅田郵便局)
(送金は安全, 確實な 振替口座 大阪56765番へ)

天界 第250號

昭和17年2月28日印刷
昭和17年3月1日發行

Ⓢ〔定價金40錢〕送料金5厘

編輯兼發行 滋賀縣滋賀郡眞野村大字眞野513

東亞天文協會 (振替大阪56765)
(代表者山本一清)
日本出版文化協會第2種會員(第220038番)

發行所 同上
印刷所 京都市上京區上樺木町千本東入
印刷者 同上
配給元 東京市神田區淡路町二丁目九番地

同上
眞美印刷所〔電西陣3702〕
橋本岩太郎
日本出版配給株式會社